

未来への貢献 地元企業とSDGs



食育は、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、同社が中核に位置付ける事業だ。この日のテーマは「絵本に出てくるパンケーキ作り」。参加した親子は絵本の読み聞かせを楽しんだ後、パンケーキを焼いて野菜やチョコレートをトッピングした。

食育は、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、同社が中核に位置付ける事業だ。この日のテーマは「絵本に出てくるパンケーキ作り」。参加した親子は絵本の読み聞かせを楽しんだ後、パンケーキを焼いて野菜やチョコレートをトッピングした。

食育テーマに活動

マルイ(津山市)

「卵を割ったことはありませんか？」
スーパー経営のマルイ(津山市二宮)が、親子を対象に同市

10歳の長男と参加した公務員宇治佳奈さん(47)「同市は「調理を通じて食卓に上る食材について関心を高めてほしい」と話した。食育推進室はCSR(企業社会的責任)活動の一環で2006年に発足し、現在は6人が在籍する。同室の春名久美子課長は「消費者に食の大切さや楽しさを伝えるには、体験の機会を提供するのが近道と考えた」と説明する。

07年にくらしき作陽大の学生と栄養バランスに配慮した弁当を開発し、店頭で販売。現在約1万7千人が来場する名物行事「マルイフードフェスタ」へと発展している。食育の推進は本業の食品販売につながるだけでなく、消費者と生産者を結び付け、地域の持続的な発展にもつながる。春名課長は「国連の『SDGs』を耳にしたとき、磨けば光る原石が社内にあると直感した」と言う。



親子がパンケーキ作りに挑戦した食育イベント。津山市

調理体験、地場産品催し

このほか、環境分野では店の屋根など10カ所に太陽光発電設備を導入。魚のあらや野菜くずを飼料に転用するなど食品廃棄物の削減にも努めている。

松田欣也社長は「スポーツや文化などの分野でも地域を元気にするための活動に取り組み、SDGsの目標達成に貢献していきたい」と力を込める。(岸本渉)

食育をテーマにした地域活動を広げるため、NPO法人も設立した。生産者やメーカーと協力し、地場産品1品の販売につき3円を学校教育費に充ててもらう活動を推進。14年以降、出店エリアの市町村に2千万円以上を寄付した。17年には空き家を改装した交流拠点「Ziba Platform」を津山市中心部に設け、食をキーワードにした催しを開いている。